

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永宇岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
http://www.mie-ced.jp/hsyokk/
07_Alumni_association



会長 早野憲一郎

ご挨拶

同窓会会員の皆さまには、日ごろから同窓会ならびに母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、みなさんの生活も少しずつ元に戻りつつあるのではないのでしょうか。私も、街には活気が、人々には笑顔が戻ってきたように感じています。

今年の3月にはWBC (World Baseball Classic) が開催され、みなさんもテレビの前で観戦されたことと思います。日本チームの勝利はもちろんのこと、大谷翔平選手活躍には私も大変感動しました。このWBC観戦中、多くの人が日本チームに声援を送っていたの

ではないでしょうか。普段は野球観戦しない人も日本チームを応援し、大谷翔平選手の活躍を誇らしく思っていたことでしょう。私は

これは、無意識のうちに私たちに「日本」を応援する人が多いです。これは、「日本国民」であるという、ナシヨナリズムの精神が根付いているからでしょう。ナシヨナリズムの精神は決して否定するものではありませんが、私たちに知らな

グローバル化が進み、日本にもたくさん外国人が暮らしています。様々な文化背景を持つ人と、共に生きるためにはお互いを尊重することが大切ですが、時に私たちのなかにあるナシヨナリズムがそれを邪魔することがあります。しかし、自分の中にナシヨナリズム

が存在することを知っていれば、立ち止まって考えることができず。日本にいるからと言って、日本式を押し付けていることはないでしょうか。相手を尊重すること、相手のことを知ろうとすることを忘れてはいないでしょうか。

国籍や文化背景に関わらず、その人個人として向き合うことが大切だと私は考えています。個人と向き合い、お互いにお互いを知ってゆく中で、人間関係が作られ、それが多様な人が共に暮らす社会へとつながるのだと思います。

新しい仲間が増えていく社会になることを祈っております。最後にになりましたが、会員の皆さまの今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますと同時に、南高校同窓会のさらなる発展に向けて、ご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆さまの今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますと同時に、南高校同窓会のさらなる発展に向けて、ご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。



学校長 梅原浩一

ご挨拶

同窓会のみなさまには日頃から母校の教育活動に深いご理解と多大なるご支援を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

本校の同窓生のみなさんは行政や政治、医療、実業界など、さまざまな分野で活躍されており、このことは本校の教育活動において心強くもあり、大きな支えとなつていきます。

令和3年に「学校教育法施行規則」が改正され、各学校はスクールポリシーを策定し、公表するものとされました。

このスクールポリシーは3つの方針、「グラデュエーション・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」「アドミツション・ポリシー」からなっていますが、本校では育みたい生徒の資質・能力に関する方針である「グラデュエーション・ポリシー」の一つに、『社会に貢献しようとする意思』を掲げています。

これは、昭和三四年の開校当時

から大切にされてきた「開拓者精神」を受け継ぐものです。

私は昨年度の卒業式において、ステイブ・ジョブズが2005年のスタンフォード大学の卒業式で行ったスピーチの一節である『貪欲であれ、愚かであれ』という言葉を紹介し、この『貪欲であれ、愚かであれ』のごとく、新しい領域に対しても決してひるまず、果敢に挑戦し、既存の常識にとらわれることなく、高い志を持ち続け、知識を知恵に変え、夢と希望にあふれたフロンティアを目指して、それぞれの道を切り拓いていってほしいと式辞を送りました。これは、ステイブ・ジョブズの言葉を借りて、本校の創設以来、大切にされてきている「開拓者精神」を卒業生へのはなむけとして送ったものです。これからも

会員の皆さまの中に脈々と受け継がれている「開拓者精神」を大切ににし、世界、日本、地域と舞台はどこであれ、さまざまな分野で活躍できる生徒を育てていきたいと考えています。

最後となりましたが、今後もう層のご厚情、ご支援を賜りますようお願いするとともに、同窓会の益々のご隆盛と、会員のみなさまのご健勝とご活躍を心より祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

令和3年度三重県立四日市南高等学校同窓会決算報告

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

1. 〈前年度繰越金〉

22,705,754円

2. 〈収入の部〉

(単位：円)

科目	本年度予算額	決算額	差引残高	備考
入会金	638,000	636,000	△2,000	R2年度卒業生 2,000円×318人
初回会報代払込金	638,000	636,000	△2,000	R2年度卒業生 250円×8年分×318人
同窓会懇親会費			0	
会報協力金	1,000,000	1,473,971	473,971	会報・名簿販売収入587件
雑収入	1,000	219	△781	預金利息
収入計	2,277,000	2,746,190	469,190	

3. 〈支出の部〉

(単位：円)

科目	本年度予算額	決算額	差引残高	備考
行事費	0	0	0	
会議費	20,000	0	20,000	
慶弔費	20,000	0	20,000	
旅費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
会報費	450,000	443,300	6,700	同窓会会報代(第52号) 18,000部
通信運搬費	1,530,000	1,475,185	54,815	会報郵送代(第52号) 17,452通
手数料	3,000	4,730	△1,730	振込手数料
委託料	66,000	66,000	0	会計業務委託料
分担金及び寄付 ※教育活動振興費含む	300,000	248,060	51,940	卒業記念品(印鑑等¥47,700)、 全国大会出場寄付(¥5,000)、 ※教育活動振興費(¥195,360)を含む
報償費	0	31,288	△31,288	OB講演会(3名)報償費+旅費
70周年関係積立金	100,000	100,000	0	
予備費			0	
支出計	2,489,000	2,368,563	120,437	
収支差額	△212,000	377,627	348,753	
計	2,277,000	2,746,190	469,190	

監査報告

1 〈前年度繰越金〉	22,705,754 円
2 〈収入の部〉	2,746,190 円
3 〈支出の部〉	2,368,563 円
計	23,083,381 円
70周年積立金	300,000 円
【残高内訳】	
普通預金	1,164,820 円
通常貯金	1,658,860 円
定期預金	11,865,904 円
定額貯金	8,689,000 円
郵便振替口座	4,797 円
計	23,383,381 円
通常預金のうち300,000円は70周年積立金	

上記の令和3年度決算報告について、会計帳簿及び証拠書類等について監査を実施しました結果、適正かつ正確に執行されているものと認めます。

令和4年6月30日

三重県立四日市南高等学校同窓会

監事 石山 純

令和3年度同窓会予算、「教育活動振興費」より、195,360円を第1演習室の会議用机購入費に充てさせていただきました。

令和4年度三重県立四日市南高等学校同窓会予算（案）

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

1. 〈前年度繰越金〉

23,083,381円

2. 〈収入の部〉

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
入会金	622,000	638,000	△16,000	R4年度卒業生 2,000円×311人
初回会報代払込金	622,000	638,000	△16,000	R4年度卒業生 2,000円×311人
懇親会費	0	0	0	
会報協力金 ※	100,000	1,000,000	△900,000	郵便振替口座から資金移動及び名簿販売等
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息（定額預金満期利息含む）
収入合計	1,345,000	2,277,000	△932,000	

3. 〈支出の部〉

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
行事費	0	0	0	総会 懇親会 講師御礼
会議費	20,000	20,000	0	役員会
慶弔費	20,000	20,000	0	同窓会担当職員転勤等餞別等
旅費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
会報費	350,000	450,000	△100,000	同窓会会報代
通信運搬費	200,000	1,530,000	△1,330,000	会報郵送代、諸経費
手数料	5,000	3,000	2,000	振込手数料
委託料	66,000	66,000	0	業務委託料（会計業務）
卒業記念品他	400,000	300,000	100,000	卒業記念品、全国大会出場寄付金等
報償費	50,000	0	50,000	
70周年関係積立金	100,000	100,000	0	年度積立額（4年目）
予備費	100,000		100,000	
支出合計	1,311,000	2,489,000	△1,178,000	
収支差額	34,000	△212,000		

1 〈前年度繰越金〉	23,083,381円
2 〈収入の部〉	1,345,000円
3 〈支出の部〉	△1,311,000円
予算 計〈残高〉	23,117,381円

項目間の流用等を役員会に委任する。

「令和4年度 同窓会定時総会」の中止により、予定されておりました報告事項「令和3年度決算報告及び監査報告」並びに審議事項「令和4年度予算（案）」の資料を掲載いたしました。御質問等ございましたら、次のメールアドレス宛、令和4年8月31日（水）までにお寄せください。hsyokk-dousou@mxs.mie-c.ed.jp
尚、同じものが四日市南高校同窓会ホームページ
http://www.mie-c.ed.jp/hsyokk/07_Alumni_association/index.html にもアップされております。

OB講演会

OB Lecture

1年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

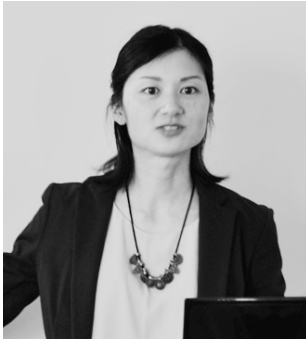
令和5年7月12日(水)

農業家

川崎 麻里氏 (44期)

「アフリカ、そして農業」自然との共生」と題してご講演をいただきました。

アフリカのウガンダでのボランティア経験から、自然との共生について、また農業と教育について様々な経験をもとにご講演いただきました。



川崎 麻里氏

大学時代に農業についての研究をされ、その経験を活かして青年海外協力隊でウガンダに派遣された後、ウガンダにて自然の中に身を置くこと・誰かが自然の一部として自然の豊かな暮らしをすることを身をもって体験されました。その経験から大きく、自分の時間をどのように使っていくか考へること、とにかく何でも挑戦すること、これからは生きる力に身につけることの3つの観点を本

令和5年7月12日(水)

校生徒へ伝えられました。生徒は海外での体験やウガンダでの自然との共生について直接聞く機会はなかなか無いこともあり、講演に釘付けになっていました。

株式会社GUTS代表取締役 古賀 浩嗣氏 (36期)

「しくじり先生 格好悪くていい、面白い人生を送ろう」と題してご講演をいただきました。

ご自身の高校時代から現在に至るまで振り返りながらそのときに得た教訓等をお話しいただきました。生徒たちへ積極的に声をかけていただきました。また、生徒たちからも古賀氏への質疑も活発に行われました。

ポイントをまとめると大きく6項目「夢は目標を持ち叶えるためには①動機はよこしまなものではない。②人生は思い通りにならぬということもある。③一生懸命に取り組んでいけば救いの神はある(人脈や状況など)。④若いうちに失敗はたくさんする方がよい。⑤目の前のことを大切にすること。⑥目標設定をするためには自ら計画を立ててルーティン化することが大切で、今後の学校生活や社会進出後に必要な能力や考え方について



古賀 浩嗣氏

講演いただき、とても勉強になりました。

合同会社ユー・エス・ジェイ オペレーション部 植木 浩一氏 (51期)

「やりたいことを見つける方法」と題してご講演をいただきました。

まず、ご自身の高校時代を振り返った上で、時間の使い方について、やることや限界を感じるまで頑張ることの大切さ、多感な高校時代に様々なことに挑戦する大切さについて話して頂きました。そして「やりたいことを見つける方法」として①自分を知ること②自分の「好き」を見つけてくることの2点の方法を教えてくださいました。自分はどうな時に、どんな事で心が動くのかを知ることや、好きな事のこと



植木 浩一氏

のような点に魅力を感じているのか考察する作業を定期的に行うことで自己理解が深まり、より選択肢が広がっていくことを具体的な例を用いながら教えて頂きました。

三十三銀行 人事部 清水 大地氏 (54期)

初めに高校時代の成績の推移を分かりやすくグラフにまとめて説明され、3年生の部活終了後は東進で毎日10時間勉強したという苦労話をされました。「高校時代にやっておいて良かったことはなんだと思いますか」の質問に生徒は「勉強」と答えていましたが、答えは「青春」でした。そこから緊張した雰囲気が一気に和み、銀行の三大業務や銀行の役割についてお話いただきました。また、ワークシートを使って20歳の時の収入や支出、30歳の時の収入や支出をシミュレーションし、生活とお金の流れについて、深く学ぶことができました。



清水 大地氏

三重県職員 松阪建設事務所 後藤 未来氏 (57期)



後藤 未来氏

「災害から三重県民を守る土木女子の仕事」と題してご講演をいただきました。自己紹介の後、県職員とはどのような仕事か、土木技師の仕事として、現在作っている学校近くの道路や整備中の河川について、砂防関係・防災関係の仕事内容について写真を多く含んだスライドを用いて分かりやすく説明してくださいました。仕事の魅力ややりがい、ご自身の経験も踏まえて課外や先生をどんどん利用するとよい、公務員は大学でどの分野にいても目指せる仕事なので進路先の一つとしてお勧めであるといったキャリアアデヴァインに関して参考になるアドバイスを沢山いただきました。土木技師というと肉体力労働で男性の仕事という印象かもしれないが、ドローンやリモートなど新しい技術も取り入れており携わる女性も増えていくとのこと。県職員・土木技師への理解が深まり、進路選択について考えるよい時間となりました。

Teaching Practice 教育実習

今年も前期の教育実習が行われました。58・59期生の方々に感想をお聞きしました。

岡慎二郎(保健体育) 第59期生

教育実習を通して指導する難しさを学びました。自分でわかっていることでも人に教えるとなるとなかなかうまく伝えることができませんでしたし、動きの説明や自分の感覚を言語化することがとても難しかったです。これからその力を養い、この経験を今後の自分に活かしていきたいと思います。

渡辺直翔(英語) 第59期生

私はこの三週間の教育実習で大変多くのことを学ばせていただきました。日々の授業はもちろん、その他の業務、体育祭の運営の中で先生としてするべき仕事の量がとても多く毎日が驚きの連続でした。生徒との日々のコミュニケーションを通じて、「先生」という職業のやりがいを実感できた三週間でした。

岸田彩音(音楽) 第59期生

教育実習は非常に充実した経験でした。生徒との関わりを通じて、教育の力と責任を実感しました。楽しんで授業を受けてくれたり、

生徒から声をかけてたりと、とても嬉しかったです。

3週間という短い期間でしたが、教育者としての情熱や自信を深めることができたと感じています。この経験を活かし、将来本場の教員として教壇に立ちたいと思います。

西岡李(英語) 第59期生

今回の教育実習は、高等学校での実際の先生方の業務や生徒の様子を、観察させていただく貴重な機会となりました。

実習中には、体育祭といった行事や、文化祭に向けてのクラス討議などにも参加させていただき、そうした生徒達の活動の様子をしっかりと見ることができました。

生徒がスムーズに活動できるような枠組みや指針を作り、必要があれば助言をする先生の姿を間近で見、自分の改善点や良いところ、指導のあり方を見つめなおし、今後の研究課題を見つけることができました。

坂倉帆香(英語) 第58期生

教育実習により高校の英語教員になるという目標に近づくことができましたと感じています。良い授業を作るためには生徒をよく理解することの重要性を体験できたことは自分にとって大きな学びです。また体育祭を教員側の視点から

拝見できたのも良い経験でした。担当したクラスが明るく真面目な生徒ばかりで恵まれていたと思います。

中島僚太(物理) 第59期生

2週間という短い間でしたが、教える側の楽しさ、大変さを知ることができました。教材研究や授業資料を考え、作成することは非常に時間がかかり苦労しましたが、

時間をかけた分問題の正答率や授業での生徒の頷きが変わり、非常にやりがいを感じました。

また放課後に生徒と話したり、クラス旗と一緒に作ったり、同じクラスTシャツを着て体育祭に参加したりして多くの生徒と関わることもできました。

服部果恋(英語) 第59期生

母校での3週間は長いようであつという間に過ぎました。実際に初めて教壇に立った時は大変緊張し、授業も計画通りに上手に進むことができません、教え方や伝え方の難しさに直面しました。

また、体育祭にも参加させていただき、授業以外で教師としての生徒との関わり方を学ぶことができました。

江川康佑(日本史・地歴) 第59期生

59期として卒業した3年前以来

の四日市南高校は、当時とほとんど変わっていませんでした。教育実習中は生徒との関わり方に悩んでしまいましたが、色んな先生方がアドバイスをくださいました。

村田実咲(音楽) 第59期生

大きな不安から始まった教育実習でしたが、先輩の先生方や南高の生徒、そして実習仲間たちに助けられながら、充実した3週間を過ごすことが出来ました。

授業ではアルトリコーダーの演奏を担当し、その試験では最後まで吹き切る様子を見ることができ、嬉しかったです。

体育祭では生徒たちが全力で体育祭を楽しむ姿を間近で見ることが出来ました。廊下ですれ違わず挨拶をしてくれる礼儀正しい南高の生徒たちの将来に期待しています。

倉田湊大(数学) 第59期生

授業を通じて、生徒をしっかりと

みて端的に指示を伝え、授業を進めることの大切さと難しさを学びました。担当したクラスの生徒から「問題集の問題がわからないから教えて欲しい」「数学を教えてくださいありがとうございます」と先生として生徒に頼られ、感謝されたときは本当に嬉しかったです。

服部あおい(保健体育) 第59期生

教育実習が始まるまでは不安や心配事が多くありましたが、気さくに話しかけてくれ、実習しやすい環境や雰囲気を作ってくれた生徒たちには感謝しかありません。

私は授業作りや説明をするときの、話の聞かせ方にも工夫が必要だと学びました。この実習を通して学んだことを今後活かしていきたいと思っています。



これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

躍進する部活動

バレーボール部

新入部員や新しい顧問・監督を迎えて、県ベスト16を目指して日々練習に励んでいます。残念ながら、県総体では男女とも初戦で敗退しましたが、四月の春季大会では、女子は初戦突破するなど着実に結果が出ています。

6月から男女とも新チームになり、限られた時間の中でより精度の高い練習と規律ある行動ができ、やっている方も見ている方も楽しい部活動になることを目指していきます。

箏曲部

現在部員は、3年生7名、2年生9名、1年生8名の計24名で、生田流正派大師範の森雅笙先生の熱心なご指導の下、練習に励んでいます。

昨年度は、「全国高等学校総合文化祭東京大会」に参加し、優秀賞・文化庁長官賞を受賞しました。そして、8月末に行なわれた全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演に参加させていただきました。国立劇場で演奏できたことは、生徒にとって、大変貴重な経験となりました。今年度は8月4日に県

大会、そして11月19日には近畿高等学校総合文化祭三重大会日本音楽部門が津市サンヒルズ安濃ハー

モニーホールで開催されます。心のこもった演奏が届けられるよう、部員一同、日々、練習に熱心に励んでいきます。

家庭部

家庭部は、現在、1年生5名、2年生3名、3年生2名の計10名で活動しています。調理実習では、自分達で季節ごとにメニューを検討し、実習を行っています。今年度の文化祭では、アレルギーの子でも食べられる「米粉スノーボール」を4種類(ブレイン・黒ごま・抹茶・きなこ)販売する予定です。今後ともよろしくお願いいたします。

サッカー部

男子サッカー部61名・女子サッカー部27名でそれぞれ活動しています。今年度は男子が県総体5位に受賞しました。

目標設定を明確にし、目標達成のために、限られた環境の中でも集中し、工夫し取り組んでいます。一人ひとりが輝ける場所になるよう、みんなで声を掛け合いながら

活動しています。OB・OGの皆様、是非応援してください。

ソフトテニス部

今年度は、男女11名の新入部員を迎え、現在29名で活動しています。平日は男女交代でコート利用をしながら、限られた時間で効率よく練習できるよう工夫して取り組んでいます。部活動を通じて、仲間との絆や感謝の心を養いつつ、県大会団体戦ベスト8という目標を達成できるよう日々練習に励んでいます。ご支援よろしく願っています。

バスケットボール部

今年度は男女とも、県大会出場を果たしました。男子は、初戦突破し、ベスト16になりました。女子は、あと一步のところまで迫り、練習の成果を発揮することができました。

また礼儀やマナーを身に付け、自分たちでチームの課題を見つけ、改善していけるチームになれることを目標に取り組んでいます。

ハンドボール部

男子は県総体で3位となり、目標としていた東海大会に出場しました。女子は上位チームにあと一步のところまで迫るなど、練習の

成果を発揮することができました。新チームは、全員が与えられた役割を果たすこと、自主的に行動すること、限られた時間と場所での質の高い練習に取り組むことを心がけています。

ワンダーフォーゲル部

現在は、1年部員3名で活動しています。引退した3年部員の思いを受け継ぎながら部員増を図り、来年度の県総体に向け、再起を図りたいと考えています。変らぬご支援の程よろしくお願い致します。

囲碁・将棋部

現在部員は、2年生男子5名、女子1名、1年生女子1名の計7名で活動をしています。日々部員達は熱心に対局や詰め将棋に取り組んでいます。

8月には2年生女子1名が昨年に引き続き全国大会へ出場します。他の部員も負けないよう、棋力向上に努めています。今後ともご支援いただきますよう、よろしく願っています。

演劇部

今年度は2名の新入部員を迎え、上級生と併せて4名で活動しています。日々の熱のこもった稽古で部員各人の持ち味を醸し出すようになってきています。

今年も三重県高等学校演劇大会北勢地区大会での上位入賞を目指すとともに、文化祭での公演など、自主公演にも積極的に取り組んでいこうと考えています。今後とも演劇部へのご支援をお願い申し上げます。

音楽部

この春は、1年生だけでなく2年生の入りもあって、男子5名、女子12名の総勢17名で活動しています。合唱祭では、神戸高校と合同で楽しい合唱曲を披露することができました。

現在、フランス語の課題曲に悪戦苦闘しながら、3年連続中部大会出場に向け日々練習に励んでいます。秋には近畿総合文化祭三重大会、そして、12月には恒例のオーケストラと第九演奏会など、盛りだくさんの行事を控え、今年も熱い一年になりそうです。

硬式野球部

いつも、ありがとうございます。「意志あるところに道は拓ける」という理念のもとに、甲子園初出場という目標を掲げ、本気で活動しています。「どうせ」や「でも」ではなく、「もしかしたら」という思考を習慣化することで、自身身の可能性が広がっていくと信じています。私たちにしかできない、

私たちなら出来る。ご支援よろしくお願いたします。

硬式テニス部

硬式テニス部は現在男子24名、女子13名、マネージャー2名の計39名で活動しております。練習時間や活動場所に限りがある中、上位入賞を目標に努力を続けていきます。

今後ともご支援よろしくお願いたします。

自然科学部

今年度は3年生5人、2年生1人、1年生5人の計11人で活動しています。休日に海や川などで生物を採集し、飼育・観察・繁殖しています。昨年度は日本生物学オリンピック本選に出場したり、日本学生科学賞三重県展において最優秀賞を受賞したりしました。

今年度も新しい研究を行うとともに、科学オリンピックや生物学オリンピックにも積極的に参加します。

卓球部

いつもありがとうございます。

卓球部は新入部員を迎えて、22名で日々練習に励んでいます。練習も生徒が自ら考え実行し、その成果を顧問と共に検討するサイクルが確立しつつあります。また、県

予選を勝ち上がり中部日本卓球大会等に出場する選手も出てきております。

今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます

茶道部

今年度は1年生8名、2年生5名、3年生7名の計20名で、毎週水曜日放課後、羽木千鶴子先生ご指導のもと稽古に励んでいます。夏の間は、南高祭茶会に向けて浴衣の着付けや立礼棚の点前を練習します。

今年度はようやく通常の稽古を行うことができ、また喜びと戸惑いの時間です。

電算無線部

電算無線部は、今年度、3年生5名、2年生2名、1年生2名の計9名で活動しています。毎週水曜日に情報室に集まり、コンピュータに関する自分たちが興味をもったことについて学習しており、新入生に見せる部活動や学校行事の紹介ビデオの作成や、ドローンの操作練習なども行っています。

美術部

新入部員7名を加え、合計13名で活動中。昨年もコロナ禍の間隙を縫い、波切の大王荘を拠点に合宿を実施。本年度も同場所にて合

宿制作を予定しています。夏期休業中には、南高祭、みえ高文祭(本年はみえ近文祭同時開催)に向け大作を制作。続いて北勢地区高校美術展等への出品を予定しています。

昨年年度はこの北勢展で「奨励賞」を受賞した1年生もおり、制作の質もますます充実しています。

陸上競技部

6月に3年生の多くが引退し、現在は男女合わせて約30名の部員で活動しています。みんな仲がよく、自己記録の更新や上位大会出場を目指して意欲的に活動しています。

5月末に開催された県高校総体では、女子3000m優勝・男子4000m4位・女子1500



陸上競技部

0m5位と健闘し、見事東海大会出場を果たしました。

柔道部

武道場には40年ほど前からの部員名が掲げられており、また数々の賞状が掲示されています。それらを眺めながら時代に流されることなく練習に打ち込んでいます。

今後とも安きに流されることなく人格形成と競技力向上にむけて取り組んでいきたいと思えます。

文芸部

3年生5名、2年生6名に、1年生5名が加わり、16名でにぎやかに活動をしています。普段は、個々に創作活動を行い、作品を通しての交流や部誌作成に取り組み等、主体的に活動しています。

また、県内の文芸部員との交流会や学習会に参加する等、校外での活動にも積極的に参加しています。今年度も鹿児島で開催される全国高等学校総合文化祭に、「散文」部門の三重県代表として参加します。

剣道部

剣道部は現在、1年生男子5名、女子3名を新たに迎え、男子8名女子8名、合わせて16名となりました。

県総体では男子は強豪校を相手

に善戦しました。また女子は団体戦で2回戦敗退となりましたが、日頃の練習で培った力を発揮して、全力で戦うことができました。

これからも頑張っていけますので応援をよろしくお願致します。

バドミントン部

今年の県総体は感染対策が緩和され、活気ある熱戦が繰り広げられました。結果は男女とも一回戦敗退でしたが、男女あわせて10名の3年生が最後まで活躍してくれました。

現在は40名の新入部員を迎え、計71名で新体制がスタートし、ほとんどが未経験者でありながら、日々練習やトレーニングに励んでいます。



●●部

ご注意ください！

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多く同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

進路状況

今年度卒業生の主な国立大学合格校は、難関大では、京都大(1)、大阪大(4)、北海道(1)、名古屋大(9)、九州大(2)。ついでブロック大として千葉大(3)、金沢大(3)、名古屋工業大(6)、広島大(3)。比較的近場の地方国立大では信州大(2)、静岡大(3)、愛知教育大(2)、岐阜大(1)、となっています。また、主な公立大学合格校は、名古屋市立大(7)、神戸市外語大(3)、大阪公立大(6)、滋賀県立大(2)、愛知県立大(7)、三重県立看護大(8)となっています。

特徴と大きな違いが見られました。第2位に「文学・言語・国際・文化」18.6%(昨年7.9%第4位)と文系学部が飛躍し、第3位に「教育」17.4%(昨年17.9%第2位)が入りました。

全国的に大きく人気を下げている教育系ですが、本校では根強い人気を保っています。第4位は「看護」10.2%(昨年5.0%第8位)と並んで「経済・経営・商学」10.2%(昨年5.7%第6位)、第6位が「農林畜産・生物・生命・環境」7.2%(昨年10.7%第3位)でした。以下は5%を切りませんが、第7位が「理学」第8位が「政治・法律」と続きました。

一昨年度507校を上回り、一昨昨年度632校までは戻りませんでしたが大増となりました。

受験形態別にみると、一般入試型の受験数は延べ1032校(昨年延べ917校)と15校の増。共通テスト利用型の受験数は延べ360校(昨年343)と17校の増。延べ受験校数1532校中何らかの形で共通テストを利用しているものは、552校、36.0%と高い割合を示しています。各大学が共通テストを利用した受験方式や併願パターンを多様化させており、受験料の割引や、減額制度も拡大させている状況です。

旧帝大に次ぐ地方の拠点国公立大への出願が多かったのは、千葉大(法1)、金沢大(人間4)、広島大(教育4)、大阪公立(経2・商3)で、そのうち千葉大(法1)、金沢大(人間3)、広島大(教育3)、大阪公立(経2・商3)が合格。ここまで24名のうち21名が合格、実に合格率87.5%と非常に高い結果を出しました。

理系生徒の本年度の特徴としては、全国的にも環境や情報において強い理系色から文理融合へと移っていることにも似た傾向が見られます。これまで「工学」の一強でしたが、「農林畜産・生物・生命・環境」や「理学」にも人が分散しています。

私立大学に比べて国立大学は、教育、就職環境に優れているため、多くの生徒が全国を視野に入れて出願を行っています。

今年度は、国立延べ受験件数は4件減少して296件でしたが、現役合格件数167と群制度廃止以降最高を記録しました。今年度合格率は56.4%と生徒はよく頑張りました。立合格者数は、県内進学校の中でも上位に位置しています。

私立4年制大学の延べ受験校数は1532校、受験者数は290名でした。平均併願校数は1532/290=5.28校。コロナ禍で経済的にも受験機会軽減のためにも受験を控えた昨年度485校

受験述べ1532校中の総合格数は870校であり、合格率は870/1532=56.8%であった。昨年の合格率は61.2%、数字の上では下がっているが、昨年度はコロナ禍で経済的負担の軽減のために、チャレンジ校の受験を控えたことで合格率が上がっていたと考えると、私立大学入試が難化したとは言えないでしょう。

さらにさかのぼると60.4%、45.0%、34.3%、私立大学が年ごとに確実に易化してきましたが、現在50%の60%の高い合格率で落ち着いていると考えられます。全合格数に占める学部別の割合を見ると、「工学」が29.6%と第1位。続く第2位「文学・言語・地歴・国際・文化」

注目すべきは、三重大。前後期合わせて、48名の合格者を出すことができました。過去10年で最大の合格者数47名をだした昨年度と比較すると、のべで出願は、129件(昨年度156件)、受験は73件(昨年度88件)となっており、その合格率が格段に高くなっているのが特徴です。

本年度大健闘の文系生徒の特徴としては、旧帝大へ京都大(経1)、大阪大(文1・外2・経2)、九州大(法1)へそれぞれ出願、6名が合格しました。名古屋大(法

2・経1)へは3名出願、全員が合格しました。第1志望である難関大学に臆せず出願し、合格を勝ち取ってきました。

旧帝大に次ぐ地方の拠点国公立大への出願が多かったのは、千葉大(法1)、金沢大(人間4)、広島大(教育4)、大阪公立(経2・商3)で、そのうち千葉大(法1)、金沢大(人間3)、広島大(教育3)、大阪公立(経2・商3)が合格。ここまで24名のうち21名が合格、実に合格率87.5%と非常に高い結果を出しました。

理系生徒の本年度の特徴としては、全国的にも環境や情報において強い理系色から文理融合へと移っていることにも似た傾向が見られます。これまで「工学」の一強でしたが、「農林畜産・生物・生命・環境」や「理学」にも人が分散しています。

学部別の特徴では、「工学」の合格者比率が28.7%(昨年30.0%1位)と最も高かったのは変わりませんが、一昨年度までは40%以上あったことを考えると「工学」の合格者比率は大きく下がったともとれるでしょう。さらに、これ以外の順位については本校の例年の

「心理」(21.3%)、第3位「経済・経営・商」(13.9%)までは例年通りでした。第4位は「医・歯・薬・看護・医療」(7.2%)、第5位に全国的には不人気の「教育」(6.9%)、続いて全国的にも注目の「法・政治」(5.3%)、さらに「社会」(4.0%)、「農」(3.2%)「家政」(2.8%)「理」(2.3%)と続きます。

合格数の最も多かった「工学」系の大学別合格数を見てみると、第1位は昨年と同じく名城大68(昨年85)でした。第2位は大同大43(昨年14)、以下、愛工大30(昨年圏外)、中部大29(昨年12)、中京大28(昨年41)、と第2位以降は、中部圏の大学の中でも合格可能性の数字が高く出ているいわゆる安全校を中心に出了した傾向が強くあらわれています。関西圏の人気校の中では、立命館大16(昨年10)が第6位、近畿大8(昨年圏外)が7位。並んで南山大8(昨年9)以下、東京理科大6、金沢工業大4、青山学院大3、摂南大3、同志社大3と昨年度よりは関東・関西への受験・合格が多く見られました。

次に「文学・言語・地歴・国際・文化・心理」系の大学別合格数を見てみましょう。先述にもありますが、強い地元志向が顕著に表れ、第1位は南山大29(昨年37)、第2位中京大22(昨年24)ついで名

古屋外国語21、愛知淑徳大19、名城大14、中部大14、関西圏の大学について5件以上の合格数が出ているのは、唯一関西大6でした。

学部を問わずに大学別の受験件数（1人が同じ大学を複数受けている場合も全て数える）をみると、名城大254件（昨年273）がトップ。2位が中京大169件（昨年256）、3位に南山大が152件（昨年127）、4位には愛知大96（昨年75）が続きました。2023年度受験者トップに昨年度圏外だった龍谷大と関西学院大が入ってきました。コロナ禍での強い地元志向から少し関西圏にも受験の幅を拡げているのがわかります。

対して、金城学院大は2023年度受験者トップ20にも2023年度合格者トップ20にも入らず、本校でも女子大離れが見て取れません。

私立四大の可否結果は、当然受験者の学力層の志望者動向をそのまま反映します。しかし、各模試における志望者動向の緻密な分析、自分の得意不得意に応じた傾斜配点や共通テスト利用などの入試方式選択、早期からの徹底した過去問対策の三つを真剣におこなない、最後まで粘り強く受験する姿勢が志望大学合格のためにはさらに重要になってくると言えるでしょう。

（進路指導部 川崎千佳子）

2023年度入試 大学等合格者数（過年度生判明分含む）

国立大学名	現役計	過年度
帯広畜産	1	
北海道	1	
室蘭工業	1	
茨城	2	
埼玉	1	1
千葉	3	1
新潟	1	
富山	7	
金沢	3	
福井		1
信州	2	
岐阜	1	
静岡	3	1
愛知教育	2	
豊橋技術科学	1	
名古屋	9	
名古屋工業	6	
三重	48	2
京都	1	
京都教育	1	
大阪	4	
大阪教育	1	
和歌山	1	
鳥取	2	
島根	3	
広島	3	
徳島	1	
高知	1	
九州	2	1
九州工業	1	
佐賀	1	
大分	1	
宮崎	1	
国立大学計	116	7
公立大学名	現役計	過年度
名寄市立	1	
高崎経済	1	
横浜市立	1	
富山県立	2	
福井県立	2	
都留文科	1	
公立諏訪東京理科	1	
岐阜薬科		1
愛知県立	7	
名古屋市立	7	
三重県立看護	8	
滋賀県立	2	
大阪公立	6	
神戸市外国語	3	
公立鳥取環境	2	
岡山県立	3	
県立広島	1	
山陽小野田市立山口東京理科	1	
山口県立	1	
高知工科	1	
公立大学計	51	1
私立大学名	現役計	過年度
酪農学園	1	
青山学院	3	
北里	1	
慶應義塾	1	1
昭和女子	1	
芝浦工業	4	
順天堂	1	
上智	4	
拓殖	1	
中央		1
東海	1	
東京都市	1	
東京理科	6	
東洋	2	
日本	1	
法政	2	
明治		3
立教	1	1
早稲田	1	
金沢工業	4	
岐阜聖徳学園	3	
愛知	44	
愛知学院	19	1
愛知工業	31	
愛知淑徳	29	
一宮研伸	1	
桜花学園	1	
金城学院	6	
椋山女学園	9	
大同	43	
中京	113	3
中部	52	1
東海学園	5	
豊田工業	2	
豊橋創造	1	
名古屋外国語	23	
名古屋学院	10	1
名古屋学芸	17	
名古屋芸術	2	
名古屋商科		1
名古屋女子	9	
名古屋造形	2	
名古屋文理	1	
名古屋柳城女子	1	
南山	75	1
日本赤十字豊田看護	1	
日本福祉	6	
人間環境	3	
藤田医科	5	
名城	117	3
皇學館	現役計	過年度
皇學館	27	
鈴鹿医療科学	25	
四日市看護医療	23	
京都産業	3	2
京都女子	4	
京都橘	1	
同志社	9	
同志社女子	1	
龍谷	18	
立命館	33	1
大阪産業	1	
大阪体育	1	
大阪電気通信	2	
関西	10	1
関西外国語	3	
近畿	22	2
摂南	3	
関西学院	10	
神戸女子	1	
岡山理科	2	
川崎医療福祉	1	
日本赤十字広島看護	1	
立命館アジア太平洋	2	
私立大学計	870	23
短期大学名	現役計	過年度
名古屋女子大短大部	1	
三重短大	5	
大分県立芸術文化短大	1	
短期大学計	7	0
専門学校・各種学校等	現役計	過年度
水産大学校	1	
四日市医師会看護専門学校	1	
名古屋工学院専門学校	1	
中日美容専門学校	1	
名古屋モード学園	1	
専門学校・各種学校等計	5	0

令和5年度 四日市南高校全体同窓会

【日時】

令和5年8月12日(土)午後3時
(2時30分より受付)

【会場】

四日市都ホテル 3F 朝明の間

■第1部 総会

■第2部 懇親会(社会人3,000円、学生2,000円)

■29期生が、懇親会の幹事を務めます。懇親会では、声楽家の吹屋まどかさんとピアニストの稲垣亜希子さんの演奏をお楽しみいただきます。

【演奏者プロフィール】

吹屋まどか

名古屋音楽大学音楽学部声楽学科卒業。同大学定期演奏会、卒業演奏会に出演。卒業後は四日市市を中心にミュージカル、オペラに出演。また市民ミュージカルの歌唱指導や合唱ミュージカルの演出にも携わる。

第22回みえ音楽コンクール声楽部門一般の部第3位(2位なし)。現在、四日市市立小学校非常勤講師、コールスマイル指導・指揮者、大人の歌教室主宰。

稲垣亜希子

愛知県立芸術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学卒業演奏会、みえ新進音楽家演奏会、「みえのピアニストたちVol.2」に出演。その他室内楽やオーケストラとの共演、ジョイントリサイタル等、各種演奏会に出演している。現在は滋賀県在住、声楽・器楽、合唱・オペラの伴奏ピアニストとして活動している。

第29期同窓会

■日時 8月12日(土曜日)

受付17:30 開宴18:00

■場所 四日市都ホテル

■会費 8,000円

第15回 四日市南高校東京同窓会

【日時】令和5年10月14日(土) 17:00より

【会場】三重テラス(仮)

■詳細は、四日市南高校同窓会ホームページに、後日案内を掲載いたしますので、そちらをご覧ください。

《同窓会ホームページ》

http://www.mie-c.ed.jp/hsyokk/07_Alumni_association/index.html

同窓会役員名簿

【同窓会役員】

会 長	早野憲一郎	(6期)
副 会 長	山路 熟	(14期)
書 記	大日方敏之	(15期)
	水谷正美	(23期)
会 計	小柳秀樹	(20期)
	川村公博	(25期)
監 事	石山 純	(29期)
理 事	矢野正剛	(7期)
	浦田 治	(19期)

【学校側】

顧 問	梅原浩一	学校長
特別会員	伊藤明日奈	教諭
	伊藤まゆみ	〃
	川崎千佳子	〃
	小林 仁	〃
	三徳ゆかり	〃
	出口宜是	〃
	服部圭一	〃
	廣田育男	〃
	福井翔大	〃
	藤波 厚	〃
	藤端千絵	〃
	村野玉紀	〃
	岩田礼子	〃
	鈴木里香	〃

【連絡先】

〒510-8562 四日市市大字日永岡山4917
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
TEL.059-345-3177・3178 FAX.059-345-9549
http://www.mie-c.ed.jp/hsyokk/07_Alumni_association/index.html
E-mail hsyokk-dousou@mxs.mie-c.ed.jp

第11回 四日市南高校同窓会ゴルフ大会のご案内

【日時】令和5年10月4日(水) 8時より IN
OUT スタート (正式な時刻は追って案内します。)

【場所】名四カントリー倶楽部
〒510-0906三重県四日市市山之一色町 1760
TEL.059-331-2211
※詳細は四日市南高校同窓会ホームページに掲載します。

【お申込み方法】

四日市南高校同窓会HPより第11回ゴルフ大会の申込み用紙(PDF)をプリントアウトし、FAX(059-359-3021)でお申し込みください。同学年3名そろえば、学年対抗戦にも参加できます。

【お問い合わせ先】

四日市南高校同窓会ゴルフ大会事務局
幹事 14期生 山路みのる TEL.090-3255-2644
幹事 15期生 矢田まさき TEL.090-3309-3181

主 査	英 語	保 体	理 科	数 学	国 語	地 歴	〔転入〕	主 査	英 語	保 体	理 科	数 学	国 語	地 歴	〔転出〕	理 科	地 理	〔退職〕						
桜井明博	平野祥子	鈴木里香	寺尾さつき	今枝 治	西 康平	柴原清成	森西基雄	北川靖子	河村俊成	岩田礼子	田中佑始	小林壽哉	秦 美樹	西 綾	加藤英紀	前田浩平	熊 美咲	後藤慎介	根 環	山出 論	山本 久人	松本 功健	大島 健	
四日市西高校	川越高校	朝明高校	四日市四郷高校	桑名高校	新規採用	菟野高校	桑名北高校	桑名北高校	桑名北高校	朝明高校	いなべ総合学園高校	菟野高校	飯野高校	川越高校	亀山高校	教育政策課	久居高校	桑名北高校	桑名北高校	桑名西高校	桑名北高校	朝明高校		

教職員異動

令和5年度(敬称略)